

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	常備消防負担金事業		コード	01-04-02-07
			担当課・係	総務課消防防災係
			担当者	中島 和久
			電話	64-1809
事業実施期間	昭和46年度から			
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり		
	小項目(施策)	消防・防災(消防体制の整備、充実)		

事業について				
目的 (何のために)	消防組織法の規定に基づき設置した東備消防組合の費用負担を行う。			
対象 (誰・何を対象に)	東備消防組合			
内容	東備消防組合の運営経費の負担、建物等の起債償還費用の負担			

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
費用負担金	609,171 千円	598,690 千円	
起債負担金	114,144 千円	113,092 千円	
出勤延回数(備前市管内)	1,636 回	1,633 回	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	723,315	間接補助金等		直接事業費	711,782	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	996	受益者負担		人件費	263	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債				市債		
合計	724,311	一般財源等	724,311	合計	712,045	一般財源等	712,045	合計	0	一般財源等	0	
必要人員	0.12 人		0.04 人									

結果指標	結果指標名	出勤延回数(備前市管内)	出勤延回数(備前市管内)	
	結果指標量	1,636	1,633	
	単位	回	回	
	対前年比	-	99.82%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	610,167,000 円	598,690,000 円	
	単位当たりコスト	372,354 円	366,620 円	
	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比	-		
	活動にかかるコスト	円	円	円
	単位当たりコスト	円	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか			
成果指標名	式又は説明		
	17年度	18年度	
成果指標量			
対前年比			
到達目標値	到達目標年度		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>		B
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 消防組組法	課題認識	
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	法に定められた事業であり、市民の安全、安心のため、この事業は不可欠である。	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A~E>		
効率性の評価	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	一部事務組合としての東備消防組合への事務的経費は、業務内容を精査し、よりよい効率を求めたが、判断材料が見当たらない。	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映しやすい		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E>	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性の判断は、困難である。	

平成19年度の状況		説明
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	結果指標量

総合評価	評価区分 <A~E>
市の義務的経費であるが、その運用に際し、精査することが重要である。	C

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	類似団体との比較	平成20年度以降	義務的経費の削減